



SEASIDE PARK

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

国営ひたち海浜公園

PRESS RELEASE

2014年11月21日

H26年度 VOL. 42

日々寒さを増す晩秋、黄金色の花が寄り添い温めあうように…

# イソギクが咲いています。



グリーン工房付近のイソギク 2014年11月19日撮影

国営ひたち海浜公園では、晩秋の日の光を浴びて輝くように咲くイソギクが園内各所で開花中です。

日本原産のキクであるイソギク。キクの属名「*Chrysanthemum*」はギリシア語の“chrysos”「黄金色」と“antheon”「花」に由来し、イソギクはその属名のとおり黄金色の小花が固まって咲きます。その姿はまるで、寒さから互いの身を寄せ合い温めあっているかのよう。また、葉の裏側には白い毛が生えており、葉の表面の濃緑色と、葉裏の銀白色とのコントラストが美しいのも魅力のひとつです。

オススメ鑑賞ポイントは、グリーン工房付近。園路沿いに咲くイソギクをのんびり散歩しながらお楽しみいただけます。

日々寒さを増すこの季節、清楚で健気に咲くイソギクを観ているだけで心が和やかになります。黄金色に輝くイソギクを巡り歩いて、こころもからだも温まりましょう！

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報課 広報係 服部・浅沼・安蔵

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

# イソギク キク科キク属

見頃：11月中旬～下旬

日本原産／多年草

本州の千葉県犬吠埼から太平洋に沿って静岡県御前埼までの間に分布し、海岸の岩石地や崖などに群生する20～40cmの多年草です。イソギクの名は、“磯に生える菊”ということから付きました。葉の表面が濃い緑色、裏面が銀白色というコントラストが美しく、花びらのない鮮やかな黄色い筒状の花が密に咲きます。イソギクは海浜部に自生し、本公園では主に下記場所で見られますが、他にも園内各所でお楽しみいただくことができます。



<花言葉>  
清楚な美しさ、感謝



## 記念の森レストハウス周辺

日当たりのよい斜面に咲いています。階段の上からは、噴水や翼のゲートが見えます。



## 常陸野サークル付近

サイクリングしながら楽しむことのできるスポットです。



## 砂丘エリア

自生地である崖を思わせる岩の間に咲く風情をお楽しみいただけます。

オススメポイント



## グリーン工房付近

石畳の小路の両脇に咲く姿を眺めながらゆったり散策してみてください。



メタセコイアの並木道  
＜現在＞少しずつ紅葉が始まりました！  
見頃：12月上旬頃

紅葉のピークにはこんなにロマンチックに♡



～今後のプレスリリース予定～  
「アイスチューリップ登場！」  
「冬の風物詩“干支の巨大地上絵”制作開始」